

番号	4		事業名	道路改築事業		市町村名	下伊那郡阿智村		路河川名	(主)天竜公園阿智線		箇所名(ふりがな)	伍和(ごか)	
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	本路線は、泰草村、下條村、阿智村を結び、下伊那の骨格幹線道路となる国道151号、国道153号、(主)飯田富山佐久間線を東西につなぐ重要な路線である。当該区間は山間部に位置し、幅員が狭く、カーブが連続しているため、車両のすれ違いや落石、また冬期の通行等に支障をきたしていた。そのため、橋梁及びトンネル区間を含むバイパス整備を行い、円滑で安全な交通の確保を図り、利便性向上による地域経済の活性化を目指すべく平成18年度に事業着手した。													
	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化 (A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)													
	②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化													
	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化 ・トンネル及び橋梁の採用により、地形の改変を少なくし、自然への負荷を軽減した。 ・工事期間中の騒音・振動等に配慮することにより、生活環境や自然環境への影響は少なかった。													
事業目的		道路幅員狭小箇所及び落石危険箇所、カーブが連続する線形が悪い区間を迂回するバイパス整備により、円滑で安全な交通を確保することを目的としている。												
事業概要	当初工期	H18~H22	費用対効果(当初時)	1.8	事業費(千円)	財源内訳(千円)				施設の維持管理状況				
	最終工期	H18~H27	費用対効果(評価時)	1.5	上段:当初/下段:最終( )は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源	施設の維持管理状況 (A:地域の人の参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)				
	当初計画内容(主な工種)	道路築造工L=1,040m W=6.0(8.0)m 橋梁工L=109m トンネル工L=318m			2,300,000	1,380,000			920,000	施設の維持管理状況 ・道路パトロールを毎週1回行っており、良好な状態の確保に努めている。 ・道路が拡幅されたことにより、冬期間の除雪作業性が向上したため、きめ細やかな除雪が可能となった。 ・本路線沿線では、地域住民による清掃や花壇整備等、年間5回の道路美化活動が行われている。 ・供用後、落石等の法面崩落がなく安全に通れるようになった				
	最終事業実績(主な工種)	道路築造工L=1,040m W=6.0(8.0)m 橋梁工L=109m トンネル工L=318m			2,779,380	1,667,628			1,111,752	施設の維持管理状況 地域住民等の評価 (A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)				
事業期間の延長、短縮理由と分析		事業用地の取得にあたり、一部用地交渉が難航し期間を要したため、事業期間が延長となった。												
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析		栗矢トンネル区間について、花崗岩が風化した脆弱な地質が多く、また、阿智側坑口部は土被りが薄い湿地帯であるが、調査によって想定した地質よりも悪いことが掘削時に判明したため、その対策として地山補強工を用いて工事を行ったことにより事業費が増となった。												
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況 (A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)													
	直接的効果 (定量的・定性的)													
	間接的効果 (定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況													
③今後の取り組み及び同種事業への活用と課題														
④地域住民等の評価														
改善措置の必要性														
事業完了後の施設が良好に維持されている。今後も、道路パトロールや施設点検により適切に維持管理を行う。 ・本事業は落石危険箇所を迂回するトンネル工事による通行の安全確保を行い、地域住民等の評価も得られていることから、今後も同様な落石危険箇所の対策や山間部の道路拡幅における工法選択の参考としたい。(事後評価 課題整理表5-2)														
(各部署) 公共事業評価委員会の意見														
長野県公共事業評価委員会の意見														
総合評価 A 県の評価案 妥当 評価監視委員会意見 妥当 評価の決定 A														